

令和4年度（第74回）
長崎県高等学校総合体育大会
サッカー競技

実 施 要 項

競技運営上の注意

競技上の注意

◎円滑な競技進行のために、本冊子を熟読され、遺漏のないよう
願います。

◎本記載事項が守られていない場合、警告や退場（退席）等を受け
るおそれもありますので、十分ご注意ください。

長崎県高等学校体育連盟

長崎県教育委員会

競技運営上の注意

1、選手席テント、ベンチについて

- (1) 本部のテントからグラウンドに向かって、左側のテントは組み合わせ表の番号の早い番号のチームが、右側のテントは遅い番号のチームが使用してください。
- (2) ベンチは、テントから離れ、ハーフウェイライン側に設けられていて、監督（1）、役員（5）、選手（9）の15名が着席できるようになっています。なお、雨天の場合のベンチは選手席テントの最前列に設けます。
- (3) 選手席テントおよびベンチには、関係者（メンバー表に記載されている者）以外は入れません。応援団、保護者等は逆サイドで応援するように指導して下さい。原則として、試合中は監督、役員、試合に出ていない選手はベンチに着席して下さい。
- (4) 交代選手のトレーニングを含め、何らかの理由により、フィールド周辺を移動する場合は、ビブス等を使用し、試合中の選手とまぎらわしくない服装とします。

2、メンバー表の提出について

- (1) 参加申込書の「メンバー表」に必要事項を記入し、試合開始70分前のマッチコーディネーションミーティング時に提出（4枚）して下さい。ユニフォームの欄はマッチコーディネーションミーティング後に記入して下さい。
※決勝戦については、試合開始80分前までに提出して下さい。

3、交代用紙の記入と提出について

- (1) 交代用紙はありません。メンバー表に選手交代を記入の上、第4の審判員へ提出し、その指示に従って下さい。交代後のメンバー表はベンチへ持ち帰って下さい。

4、試合前及び交代要員のトレーニングについて

- (1) 試合前及び交代要員の練習場所については、会場責任者の指示に従って下さい。

5. ユニフォームについて

- (1) ユニフォームは、正副2着とも必ず競技場に持参してください。
- (2) ユニフォームは、シャツ・ショーツ・ソックスがセットとなったものとし、正副のシャツ・ショーツ・ソックスが同色のものは許されません。
- (3) すね当て（レガース）は正しく着用してください。ソックスからはみだしたり、後ろ側につけたりしないで下さい。
- (4) ショーツの下にはくアンダーパンツ（スパッツ）は、チームの着用するパンツと同色（同系色は認められない）でなければならないし、膝の最上部より長いものを着

用してはいけません。また、チームが単色でないショーツを着用しているときは、ショーツの主となる色と同色でなければいけません。スローガンや個人的なメッセージを表示してはいけません。半袖シャツの下に長袖シャツを着用する場合も、半袖シャツと同色でなければいけません。

(5) ショーツに番号を貼付する場合は、背番号と同じ番号をつけて下さい。異なっている場合は、反スポーツ的行為として警告されることがあります。

(6) ソックスの上にテープやバンデージを巻く場合、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープの色はソックスの主たる色と同じものに限りま

6、競技場への入場について

(1) 両チームは試合開始5分前に本部席前に集合してください。背番号・氏名・すね当て等のチェックをしますが、不備な場合は入場できません。また、そのために競技開始を遅らせることもありませんので注意してください。

(2) 延長戦やPK方式等のために前の試合が遅れた場合は、原則として5分後に次の試合の本部前集合を開始します。

7、ハーフタイムについて

(1) ハーフタイムのインターバルは、10分とします。

8、アディショナルタイム表示について

(1) アディショナルタイムの表示を第4の審判員にて行います。

9、マネージャーズ・ミーティングについて

(1) 対戦チーム監督、主審、会場責任者において原則として試合開始70分前に本部にてマネージャーズ・ミーティングを行います。ユニフォーム正副2着及びメンバー表を持参してください。

(2) ユニフォームの類似により変更する必要があると主審が判断した場合、主審がその試合において着用するユニフォームを決定します。主審は、ユニフォームのうち、シャツ・ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができます。

競技上の注意

《一般的注意事項》

1. 試合中のコーチは、ベンチ及びテクニカルエリアからのみ許されます。その際、メガホンの使用は認められません。また、ベンチから離れて指示をしたり、判定に対する不服の言動があった場合は指導者には退席を、控え選手には警告が命じられます。なお、テクニカルエリアは1回戦から設置されます。
テクニカルエリアを使用して指示ができるチーム役員はその都度1名とします。
2. ゲーム中に負傷者が出た場合、チーム役員は主審の許可を得たもの2名のみがフィールドに入ることができます。ただし、負傷の程度をみて競技者を運び出すためであり、フィールド内での治療は許されません。また、フィールド内へ薬品類等が投与され、それを使用した場合は警告されます。
3. 延長戦に入る前には、3分程度の休憩をとります。選手はフィールドを出られません(自軍ベンチ前)が、監督・交代選手がフィールドの中へ入ることは許されます。
4. ペナルティマークからのキック(PK方式)実施前の指示は、自軍ベンチ前で主審が許可した後1分以内とします。その際、飲み物・トレーニングウェア・薬品等の持ち込みは許されます。
5. 競技中の飲水については、アウトオブプレーのときに、ライン上で飲水できます。そのために、タッチライン、ゴールラインから1メートル以上離れたところにボトルを置くことができます。
※コロナ対策として飲水タイムを必ず取ります。これが、クーリングブレイクになることもある。